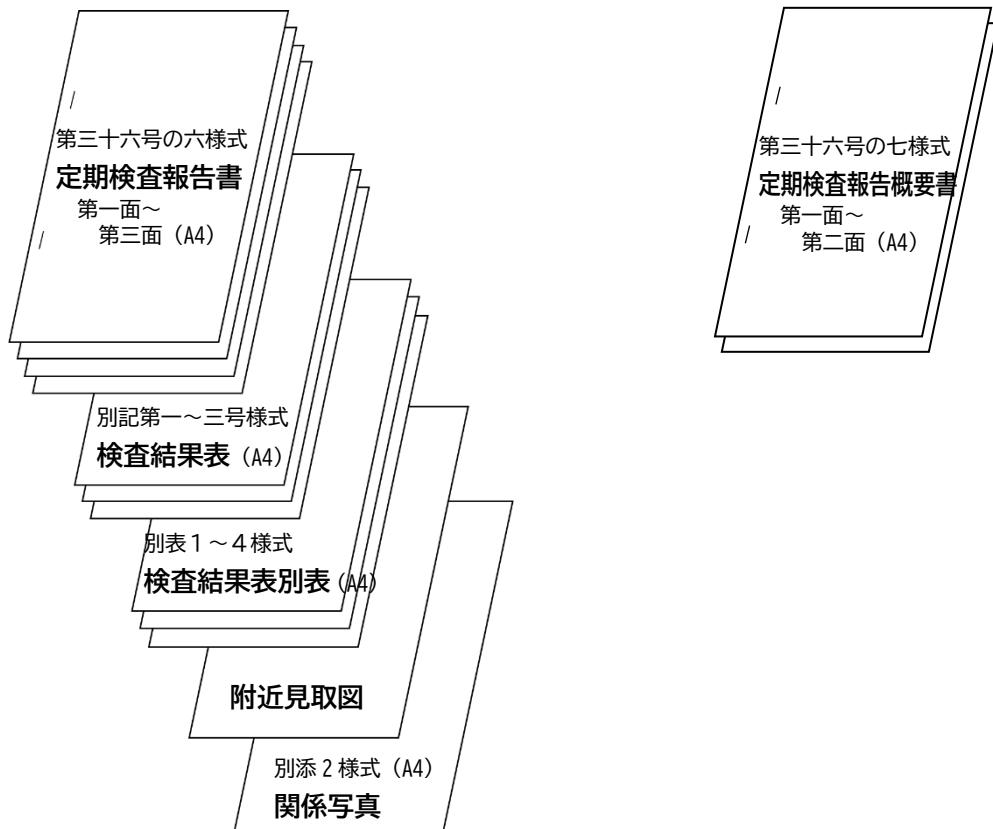


## 定期検査報告書の綴り方

### ①同一敷地内に建築物が一棟の場合

○定期検査報告書

○定期検査報告概要書



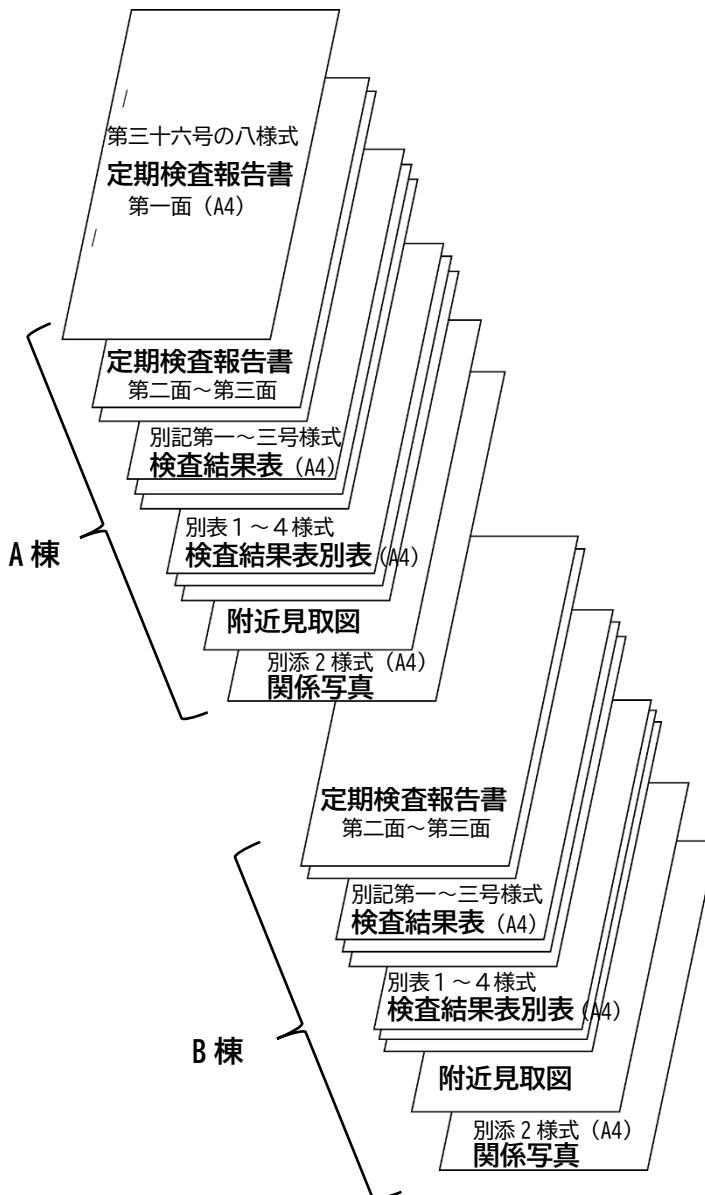
### 【留意事項】

- ・左側二箇所ホッチキス留め
- ・片面印刷
- ・附近見取図は住宅地図等
- ・定期検査報告書と定期検査報告概要書は別で綴る（一緒に綴らない）
- ・副本、控えが必要な場合は同じように綴る

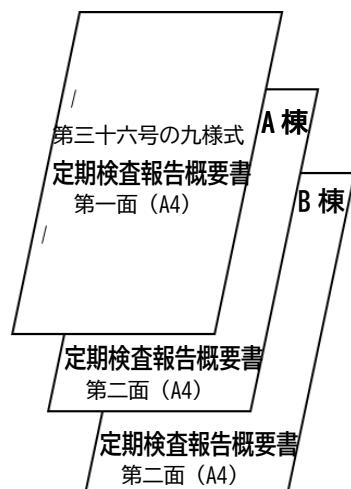
②同一敷地内に建築物が複数棟ある場合

①のように各建築物の報告書及び概要書を綴る、または下記のように綴る。

○定期検査報告書



○定期検査報告概要書



【留意事項】

- ・建築物の棟数が多い場合、インデックスやリスト等でまとめてください
- ・附近見取図または配置図で各建築物がわかるように図示してください

## 記入例

第三十六号の六様式（第六条、第六条の二の二関係）（A 4）

### 定期検査報告書

（建築設備（昇降機を除く。））

（第一面）

建築基準法第12条第3項の規定により、定期検査の結果を報告します。この報告書に記載の事項は事実に相違ありません。

特定行政庁 福島市長 様

郵送の場合、年月日は空欄。

令和 ●年●●月●●日

報告者氏名

福島 次郎

押印不要。

検査者氏名

設備 太郎

2名以上の場合代表

#### 【1. 所有者】

【イ. 氏名のフリガナ】 フクシマ ジロウ

【ロ. 氏名】 福島 次郎

法人にあってはその名称及び代表者の職名・氏名

【ハ. 郵便番号】 960-0000

主たる事務所の所在地（所在地等は住居表示で以下同様）

【ニ. 住所】 福島県福島市○○町 1-2

【ホ. 電話番号】 024-000-0000

#### 【2. 管理者】

【イ. 氏名のフリガナ】

【ロ. 氏名】

【ハ. 郵便番号】 所有者に同じ

所有者に同じ・同上等の記入可。

【ニ. 住所】

【ホ. 電話番号】

#### 【3. 報告対象建築物】

【イ. 所在地】 福島市○○字△△1-2

所在地は「住居表示」。

1-2（地番：30-1）のように表記は可。

【ロ. 名称のフリガナ】 ホクシマシホシフクシマ

【ハ. 名称】 ホテル☆☆福島

第二面（6欄口、10欄口、14欄口、指摘の内容）において「要是正の指摘あり」の指摘事項を全て記入。

【ニ. 用途】 ホテル、飲食店

#### 【4. 検査による指摘の概要】

【イ. 指摘の内容】 要是正の指摘あり（□既存不適格） 指摘なし

【ロ. 指摘の概要】 火気使用室（厨房）換気量不足、排煙口の排煙風量不足

非常用照明照度不足

改善予定年月日で最も早いもの。

【ハ. 改善予定の有無】 有（令和 ●年 ●月に改善予定） 無

【ニ. その他特記事項】 換気扇に軽微な汚れあり。

※受付欄	※特記欄
年 月 日	
第 号	
係員氏名	

①指摘なしの場合 要是正の指摘あり（□既存不適格） 指摘なし  
②指摘事項がすべて既存不適格の場合 要是正の指摘あり（□既存不適格） 指摘なし  
③既存不適格以外の指摘事項ありの場合 要是正の指摘あり（□既存不適格） 指摘なし  
(換気設備や排煙設備で複数年（2~3年以内）に渡り検査を行った項目については、その旨を記入し、実施内容を記載したリスト等を添付すること。)

要是正に至らなくても注意を要する事項等、報告しておくべき事項を記入。

また、換気設備や排煙設備で複数年（2~3年以内）に渡り検査を行った項目については、その旨を記入し、実施内容を記載したリスト等を添付すること。

## 記入例

(第二面)

報告対象の建築物が複数棟ある場合、建築物1棟ごとに記入。

建築設備の状況等

### 【1. 建築物の概要】

【イ. 階数】 地上 4階 地下 1階

【ロ. 建築面積】 495.00m<sup>2</sup>

【ハ. 延べ面積】 3,269.00m<sup>2</sup>

建築物が定期報告対象の場合、合わせる。

【ニ. 検査対象建築設備】 換気設備 排煙設備 非常用の照明装置

給水設備及び排水設備

直前の確認申請・検査済証の情報を記入。

建築物が定期報告対象の場合、その報告書に合わせる。

### 【2. 確認済証交付年月日等】

【イ. 確認済証交付年月日】 昭和・平成・令和 ○年○○月○○日 第 ○○○ 号

【ロ. 確認済証交付者】 建築主事等 指定確認検査機関 ( )

【ハ. 検査済証交付年月日】 昭和・平成・令和 △年△△月△△日 第 △△△ 号

【ニ. 検査済証交付者】 建築主事等 指定確認検査機関 ( )

### 【3. 検査日等】

調査日から6ヶ月以内に報告。

【イ. 今回の検査】 令和 ○年○○月○○日実施

前回検査日ではなく報告日(受理日)。

【ロ. 前回の検査】 実施 (令和 △年△△月△△日報告)

未実施

【ハ. 前回の検査に関する書類の写し】 有 無

### 【4. 換気設備の検査者】

前回の検査書類の有無について□。

(代表となる検査者)

【イ. 資格】 ( 1級 ) 建築士 ( 大臣 ) 登録第 12345678 号

建築設備検査員

第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】 セツヒ タク

【ハ. 氏名】 設備 太郎

【ニ. 勤務先】 □□建築設計事務所

( 1級 ) 建築士事務所 ( 福島県 ) 知事登録第 12345 号

【ホ. 郵便番号】 960-0000

【ヘ. 所在地】 福島県福島市□□町1-2

連絡可能な電話にすること。携帯電話でも可。

【ト. 電話番号】 024-000-0000

(その他の検査者)

調査者が2名以上の場合記入。3名以上の場合には欄を追加または別紙に記入。

【イ. 資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号

建築設備検査員

第 D12345678 号

【ロ. 氏名のフリガナ】 セツヒ ジュ

【ハ. 氏名】 設備 次郎

【ニ. 勤務先】 △△建築設備

( ) 建築士事務所

【イ. 無窓居室】 とは、「建築基準法第28条第2項に基づく、換気の為の有効な開口面積がその居室の床面積の20分の1未満となる居室をいう。

【ロ. 火気使用室】 とは、建築基準法第28条第3項に基づく、建築物の調理室、浴室、その他の室で、かまど、こんろ、その他火を使用する室をいう。

【ハ. 居室等】 とは、建築基準法第28条第3項に基づく、劇場、映画館、集会所等の別表第一(い)欄(一)項に掲げる用途に供する特殊建築物の居室をいう。また、これらの特殊建築物以外の居室で、任意で設置された機械換気設備は含まれない。

### 【5. 換気設備の概要】

【イ. 無窓居室】 自然換気設備 ( 系統 室 ) 機械換気設備 ( 1 系統 2 室 )

中央管理方式の空気調和設備 ( 系統 室 )

その他 ( 系統 室 )

無

## 記入例

- 【ロ. 火気使用室】 自然換気設備 ( 系統 室) 機械換気設備 ( 系統 室)  
その他 ( 系統 室) 無
- 【ハ. 居室等】 自然換気設備 ( 系統 室) 機械換気設備 ( 2 系統 2 室)  
中央管理方式の空気調和設備 ( 系統 室)  
その他 ( 系統 室) 無

- 【ニ. 防火ダンパーの有無】 有 無

換気設備の検査における「要是正の指摘あり」の指摘事項を全て記入。(3年以内に1回検査を行う項目は、報告年度以外の結果も加味して記入する。)

### 【6. 換気設備の検査の状況】

- 【イ. 指摘の内容】 要是正の指摘あり (既存不適格) 指摘
- 【ロ. 指摘の概要】 火気使用室(厨房)の換気風量不足
- 【ハ. 改善予定の有無】 有 ( 令和8年 3月に改善予定) 無

改善予定年月日で最も早いもの。

### 【7. 換気設備の不具合の発生状況】

- 【イ. 不具合】 有 無

「有」の場合、第三面を記入。

- 【ロ. 不具合記録】 有 無

- 【ハ. 改善の状況】 実施済 改善予定 ( 年 月に改善予定) 予定なし

### 【8. 排煙設備の検査者】

(代表となる検査者)

- 【イ. 資格】 ( 1級 ) 建築士 ( 大臣 ) 登録第 12345678 号  
建築設備検査員 第 号

- 【ロ. 氏名のフリガナ】 セツヒ タロウ

- 【ハ. 氏名】 設備 太郎

- 【ニ. 勤務先】 □□建築設計事務所

- ( 1級 ) 建築士事務所 ( 福島県 ) 知事登録第 12345 号

- 【ホ. 郵便番号】 960-0000

- 【ヘ. 所在地】 福島県福島市□□町1-2

連絡可能な電話にすること。携帯電話でも可。

- 【ト. 電話番号】 024-000-0000

(その他の検査者)

調査者が2名以上の場合は記入。3名以上の場合は欄を追加または別紙に記入。

- 【イ. 資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 D12345678 号  
建築設備検査員 第 号

- 【ロ. 氏名のフリガナ】 セツヒ ジロウ

- 【ハ. 氏名】 設備 次郎

- 【ニ. 勤務先】 ▽▽建築設備

- ( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

- 【ホ. 郵便番号】 960-0000

- 【ヘ. 所在地】 福島県福島市▽▽町3-4

- 【ト. 電話番号】 024-000-0000

### 【9. 排煙設備の概要】

- 【イ. 避難安全検証法等の適用】 区画避難安全検証法 ( 階) 階避難安全検証法  
( 階)

- 全館避難安全検証法

- その他 ( )

### 【ロ. 特別避難階段の階段室又は付室】

## 記入例

吸引式 ( 区画) 給気式 ( 区画)

加圧式 ( 区画) 無

【ハ. 非常用エレベーターの昇降路又は乗降ロビー】

吸引式 ( 区画) 給気式 ( 区画)

加圧式 ( 区画) 無

【ニ. 非常用エレベーターの乗降ロビーの用に供する付室】

吸引式 ( 区画) 給気式 ( 区画)

加圧式 ( 区画) 無

【ホ. 居室等】 吸引式 ( 6 区画) 給気式 ( 区画) 無

【ヘ. 予備電源】 蓄電池 自家用発電装置 直結エンジン その他 ( )

種別と区画数を記入。

排煙設備の検査における「要是正の指摘あり」の指摘事項を全て記入。(3年以内に1回検査を行う項目は、報告年度以外の結果も加味して記入する。)

改善予定年月日で最も早いもの。

【10. 排煙設備の検査の状況】

【イ. 指摘の内容】 要是正の指摘あり (既存不適格) 指摘なし

【ロ. 指摘の概要】 排煙口の排煙風量不足

【ハ. 改善予定の有無】 有 ( 令和〇年〇〇月に改善予定) 無

【11. 排煙設備の不具合の発生状況】

【イ. 不具合】 有 無

「有」の場合、第三面を記入。

【ロ. 不具合記録】 有 無

【ハ. 改善の状況】 実施済 改善予定 ( 年 月に改善予定) 予定なし

【12. 非常用の照明装置の検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格】 ( 1級 ) 建築士 ( 大臣 ) 登録第 12345678 号  
建築設備検査員

第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】 セツビ タケウ

【ハ. 氏名】 設備 太郎

【ニ. 勤務先】 □□建築設計事務所

( 1級 ) 建築士事務所 ( 福島県 ) 知事登録第 12345 号

【ホ. 郵便番号】 960-0000

【ヘ. 所在地】 福島県福島市□□町1-2

連絡可能な電話にすること。携帯電話でも可。

【ト. 電話番号】 024-000-0000

(その他の検査者)

調査者が2名以上の場合は記入。3名以上の場合は欄を追加または別紙に記入。

【イ. 資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 D12345678 号  
建築設備検査員

第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】 セツビ ジロウ

【ハ. 氏名】 設備 次郎

【ニ. 勤務先】 ▽▽建築設備

( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】 960-0000

【ヘ. 所在地】 福島県福島市▽▽町3-4

【ト. 電話番号】 024-000-0000

【13. 非常用の照明装置の概要】

【イ. 照明器具】 白熱灯 ( 50 灯) 蛍光灯 ( 10 灯)

照明器具の種類ごとに、灯数を記入。

※ミニハロゲン電球は、「白熱灯」に含む。

## 記入例

LEDランプ (25灯)  その他 ( 灯)

【ロ. 予備電源】  蓄電池 (内蔵形) (居室 50灯、廊下 25灯、階段 10灯)

蓄電池 (別置形) (居室 灯、廊下 灯、階段 灯)

自家用発電装置 (居室 灯、廊下 灯、階段 灯)

蓄電池 (別置形)・自家発電装置併用 (居室 灯、廊下 灯、階段 灯)

その他 ( 灯)

### 【14. 非常用の照明装置の検査の状況】

【イ. 指摘の内容】  要是正の指摘あり ( 既存不適格)  指摘なし

【ロ. 指摘の概要】 非常用照明照度不足

【ハ. 改善予定の有無】  有 ( 令和 ○年○○月に改善予定)  無

### 【15. 非常用の照明装置の不具合の発生状況】

【イ. 不具合】  有  無

「有」の場合、第三面を記入。

【ロ. 不具合記録】  有  無

【ハ. 改善の状況】  実施済  改善予定 ( 年 月に改善予定)  予定なし

### 【16. 給水設備及び排水設備の検査者】

(代表となる検査者)

「給水設備及び排水設備」欄

福島市において指定なしのため、記入不要。

【イ. 資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
建築設備検査員 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

(その他の検査者)

【イ. 資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
建築設備検査員 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

### 【17. 給水設備及び排水設備の概要】

【イ. 飲料水の配管設備】  給水タンク ( 基 m<sup>3</sup>)  貯水タンク ( 基 m<sup>3</sup>)  
 その他 ( )

【ロ. 排水設備】  排水槽 (□汚水槽 □雑排水槽 □合併槽 □雨水槽・湧水槽)

排水再利用配管設備  その他 ( )

【ハ. 圧力タンクの有無】  有  無

## 記入例

【ニ. 給湯方式】 局所式 中央式

【ホ. 湯沸器】 開放式燃焼器 半密閉式燃焼器 密閉式燃焼器  
その他 ( )

### 【18. 給水設備及び排水設備の検査の状況】

【イ. 指摘の内容】 要是正の指摘あり (既存不適格) 指摘なし

【ロ. 指摘の概要】

【ハ. 改善予定の有無】 有 ( 年 月 に改善予定) 無

### 【19. 給水設備及び排水設備の不具合の発生状況】

【イ. 不具合】 有 無

【ロ. 不具合記録】 有 無

【ハ. 改善の状況】 実施済 改善予定 ( 年 月 に改善予定) 予定なし

### 【20. 備考】

換気設備や排煙設備において、複数年（2～3年以内）に渡って検査を行った項目については、その旨を記入し、実施内容を記載したリストを添付すること。

前回調査時以降の不具合等を把握していない場合は、第三面を省略可。

## 【1. 換気設備】

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等

改善済み：改善年月  
改善予定：改善予定年月  
改善予定なし：—  
を記入。

既に改善済みまたは改善予定の場合、具体的措置を記入。改善予定なしの場合はその理由を記入。

## 【2. 排煙設備】

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等

## 【3. 非常用の照明装置】

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等

## 【4. 給水設備及び排水設備】

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等

「給水設備及び排水設備」欄  
福島市において指定なしのため、記入不要。

検査結果表  
(換気設備)

記入例

当該検査に関与した検査者	氏名	検査者番号		
	代表となる検査者 設備 太郎	1		
	その他の検査者 設備 次郎	2		

番号	検査項目等	検査結果			担当検査者番号	
		指摘なし	要是正	既存不適格		
<b>1 法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室（換気設備を設けるべき調理室等を除く。）</b>						
(1)	機械換気設備 機械換気設備（中央管理方式の空気調和設備を含む。）の外観	給気機の外気取入口並びに直接外気に開放された給気口及び排気口への雨水の侵入等の防止措置の状況	○		1	
(2)		給気機の外気取入口及び排気機の排気口の取付けの状況	○		1	
(3)		各居室の給気口及び排気口の設置位置	○		1	
(4)		各居室の給気口及び排気口の取付けの状況	○		1	
(5)		風道の取付けの状況	○			
(6)		風道の材質	○			
(7)		給気機又は排気機の設置の状況	○			
(8)		換気扇による換気の状況	○		1	
(9)		各居室の給気口及び排気口における物品の放置の状況	○		1	
(10)		各居室の換気量	○			
(11)		中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	○			
(12)	中央管理方式の空気調和設備 空気調和設備の主要機器及び配管の外観	空気調和設備の設置の状況	○			
(13)		空気調和設備及び配管の劣化及び損傷の状況	○			
(14)		空気調和設備の運転の状況	○			
(15)		空気ろ過器の点検口	○			
(16)		冷却塔と建築物の他の部分との離隔距離	○			
(17)		空気調和設備の性能 各居室の温度	○			
(18)		各居室の相対湿度	○			
(19)		各居室の浮遊粉じん量	○			
(20)		各居室の一酸化炭素含有率	○			
(21)		各居室の二酸化炭素含有率	○			
(22)		各居室の気流	○			
<b>2 換気設備を設けるべき調理室等</b>						
(1)	自然換気設備及び機械換気設備 自然換気設備 機械換気設備	排気筒、排気フード及び煙突の材質	○			
(2)		排気筒、排気フード及び煙突の取付けの状況	○			
(3)		給気口、給気筒、排気口、排気筒、排気フード及び煙突の大きさ	○			
(4)		給気口、排気口及び排気フードの位置	○			
(5)		給気口、給気筒、排気口、排気筒、排気フード及び煙突の設置の状況	○			
(6)		排気筒及び煙突の断熱の状況	—			
(7)		排気筒及び煙突と可燃物、電線等との離隔距離	—			
(8)		煙突等への防火ダンパー、風道等の設置の状況	—			
(9)		各居室の給気口及び排気口における物品の放置の状況	○			
(10)		煙突の先端の立ち上がりの状況（密閉型燃焼器具の煙突を除く。）	—			
(11)		煙突に連結した排気筒及び半密閉式瞬間湯沸器等の設置の状況	—			
(12)		換気扇による換気の状況	○			
(13)		給気機又は排気機の設置の状況	○			
(14)		機械換気設備の換気量	○		2	
<b>3 法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室</b>						
(1)	防火ダンパー等（外壁の開口部で延焼のおそれのある部分に設けるものを除く。）	防火ダンパーの設置の状況	○		1	
(2)		防火ダンパーの取付けの状況	○		1	
(3)		防火ダンパーの作動の状況	○		1	
(4)		防火ダンパーの劣化及び損傷の状況	○		1	
(5)		防火ダンパーの点検口の有無及び大きさ並びに検査口の有無	○		1	
(6)		防火ダンパーの温度ヒューズ	○		1	
(7)		防火区分の貫通措置の状況	○		1	
(8)		連動型防火ダンパーの煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器の位置	—		—	
(9)		連動型防火ダンパーの煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器との連動の状況	—		—	
<b>4 上記以外の検査項目等</b>						
原則記入不要。（福島市で定める検査項目の追加なし）						
「要是正」の項目は全て記入（「既存不適格」含む）。その他特記すべき事項があれば記入。 「番号」及び「検査項目」は上記表から転記し、「指摘の具体的な内容等」、「改善の具体的な内容等」、「改善（予定）年月」を記入。						
特記事項						
番号	検査項目等	指摘の具体的な内容等	改善策の具体的な内容等	改善（予定）年月		
2(14)	機械換気設備の換気量	厨房の換気量不足	排気フードのグリスフィルター清掃	R○.○		
1(10) (11)	機械換気設備の性能	次回検査：R11予定				
1(17) ～(22)	空気調和設備の性能	次回検査：R11予定				

検査結果表  
(排煙設備)

記入例

当該検査に関与した検査者	氏名		検査者番号 調査者が複数の場合記入。 一人の場合は省略可。
	代表となる検査者	設備 太郎	
	その他の検査者	設備 次郎	

番号	検査項目等			検査結果		担当検査者番号
	指摘なし	要是正	既存不適格	指摘なし	要是正	
1	令第123条第3項第2号に規定する階段室又は付室、令第129条の13の3第13項に規定する昇降路又は乗降ロビー、令第126条の2第1項に規定する居室等					
(1)	排煙機	排煙機の外観	排煙機の設置の状況	○		1
(2)			排煙風道との接続の状況	○		1
(3)			排煙出口の設置の状況	○		該当しない項目は「-」
(4)			排煙出口の周囲の状況	○		
(5)			屋外に設置された排煙出口への雨水等の防止措置の状況	○		
(6)		排煙機の性能	排煙口の開放と連動起動の状況	○		2
(7)			作動の状況	○		2
(8)			電源を必要とする排煙機の予備電源による作動の状況	○		2
(9)			排煙機の排煙風量	○		
(10)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	○		
(11)	排煙口	機械排煙設備の排煙口の外観	排煙口の位置	○		
(12)			排煙口の周囲の状況	○		
(13)			排煙口の取付けの状況	○		
(14)			手動開放装置の周囲の状況	○		
(15)			手動開放装置の操作方法の表示の状況	○		1
(16)		機械排煙設備の排煙口の性能	手動開放装置による開放の状況	○		1
(17)			排煙口の開放の状況	○		1
(18)			排煙口の排煙風量	○		2
(19)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	○		
(20)			煙感知器による作動の状況	○		
(21)	排煙風道	機械排煙設備の排煙風道（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）	排煙風道の劣化及び損傷の状況	○		
(22)			排煙風道の取付けの状況	○		
(23)			排煙風道の材質	○		
(24)			防煙壁の貫通措置の状況	○		
(25)			排煙風道と可燃物、電線等との離隔距離及び断熱の状況	○		
(26)		防火ダンパー（外壁の開口部で延焼のおそれのある部分に設けるものを除く。）	防火ダンパーの取付けの状況	○		
(27)			防火ダンパーの作動の状況	○		
(28)			防火ダンパーの劣化及び損傷の状況	○		
(29)			防火ダンパーの点検の有無及び大きさ並びに検査口の有無	○		
(30)			防火ダンパーの温度ヒューズ	○		
(31)			防火区画の貫通措置の状況	○		
(32)	特殊な構造の排煙設備	特殊な構造の排煙設備の排煙口及び給気口の外観	排煙口及び給気口の大きさ及び位置	—		
(33)			排煙口及び給気口の周囲の状況	—		
(34)			排煙口及び給気口の取付けの状況	—		
(35)			手動開放装置の周囲の状況	—		
(36)			手動開放装置の操作方法の表示の状況	—		—
(37)		特殊な構造の排煙設備の排煙口の性能	排煙口の排煙風量	—		
(38)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	—		
(39)			煙感知器による作動の状況	—		
(40)			特殊な構造の排煙設備の給気風道（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）	—		
(41)			給気風道の劣化及び損傷の状況	—		
(42)		特殊な構造の排煙設備の給気風道の外観	給気風道の材質	—		
(43)			給気風道の取付けの状況	—		
(44)			防煙壁の貫通措置の状況	—		
(45)			給気送風機の設置の状況	—		
(46)			給気風道との接続の状況	—		
(47)	特殊な構造の排煙設備の給気送風機の性能	排煙口の開放と連動起動の状況	—			
(48)		作動の状況	—			
(49)		電源を必要とする給気送風機の予備電源による作動の状況	—			
(50)		給気送風機の給気風量	—			
(51)		中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	—			
(52)	特殊な構造の排煙設備の給気送風機の吸込口	吸込口の設置位置	—			
(53)		吸込口の周囲の状況	—			
	屋外に設置された吸込口への雨水等の防止措置の状況		—			

2 令第123条第3項第2号に規定する階段室又は付室、令第129条の3第13項に規定する昇降路又は乗降ロビー								
(1) 特別避難階段の階段室又は付室及び非常用エレベーターの昇降路又	排煙機、排煙口及び給気口の作動の状況	—	—	—				
(2) 給気口の周囲の状況	—	—	—	—				
(3) 排煙風道(隠蔽部分及び埋設部分を除く。)	排煙風道の劣化及び損傷の状況	—	—	—				
(4) 排煙風道の取付けの状況	—	—	—	—				
(5) 排煙風道の材質	—	—	—	—				
(6) 給気口の外観	給気口の周囲の状況	—	—	—				
(7) 給気口の取付けの状況	—	—	—	—				
(8) 給気口の手動開放装置の周囲の状況	—	—	—	—				
(9) 給気口の手動開放装置の操作方法の表示の状況	—	—	—	—				
(10) 給気口の性能	給気口の手動開放装置による開放の状況	—	—	—				
(11) 給気口の開放の状況	—	—	—	—				
(12) 給気風道(隠蔽部分及び埋設部分を除く。)	給気風道の劣化及び損傷の状況	—	—	—				
(13) 給気風道の取付けの状況	—	—	—	—				
(14) 給気風道の材質	—	—	—	—				
(15) 給気送風機の外観	給気送風機の設置の状況	—	—	—				
(16) 給気送風機の性能	給気風道との接続の状況	—	—	—				
(17) 加圧防排煙設備	給気口の開放と運動起動の状況	—	—	—				
(18) 給気送風機の作動の状況	—	—	—	—				
(19) 電源を必要とする給気送風機の予備電源による作動の状況	—	—	—	—				
(20) 中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	—	—	—	—				
(21) 給気送風機の吸込口	吸込口の設置位置	—	—	—				
(22) 給気送風機の吸込口	吸込口の周囲の状況	—	—	—				
(23) 遮煙開口部の性能	屋外に設置された吸込口への雨水等の防止措置の状況	—	—	—				
(24) 空気逃し口の外観	遮煙開口部の排出風速	—	2(24)「遮煙開口部の排出風速」については、排煙風量測定記録表（別表3-3）を添付すること。					
(25) 空気逃し口の性能	空気逃し口の大きさ及び位置	—						
(26) 空気逃し口の外観	空気逃し口の周囲の状況	—						
(27) 空気逃し口の性能	空気逃し口の取付けの状況	—						
(28) 圧力調整装置の外観	空気逃し口の作動の状況	—						
(29) 圧力調整装置の性能	圧力調整装置の大きさ及び位置	—						
(30) 圧力調整装置の外観	圧力調整装置の周囲の状況	—						
(31) 圧力調整装置の性能	圧力調整装置の取付けの状況	—						
(32) 圧力調整装置の性能	圧力調整装置の作動の状況	—						
3 令第126条の2第1項に規定する居室等								
(1) 可動防煙壁	手動降下装置の作動の状況	○	2(24)の検査項目については、1年から3年以内に1回検査を行う。					
(2)	手動降下装置による運動の状況	○						
(3)	煙感知器による運動の状況	○						
(4)	可動防煙壁の材質	○						
(5)	可動防煙壁の防煙区画	○						
(6)	中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	○						
4 予備電源								
(1) 自家用発電装置	自家用発電装置等の状況	自家用発電機室の防火区画等の貫通措置の状況	○	3年以内に1回で全数検査を行う場合：検査しない年度は、検査結果欄を空欄とする。毎年「特記事項」欄に検査予定年度を記入。 ・2~3年に渡って全数検査をする場合：検査結果には前年度までの検査結果を踏まえ、「是正」又は「要是正」に記入。				
(2)		発電機の発電容量	○					
(3)		発電機及び原動機の状況	○					
(4)		燃料油、潤滑油及び冷却水の状況	○					
(5)		始動用の空気槽の圧力	○					
(6)		セル始動用蓄電池及び電気ケーブルの接続の状況	○					
(7)		燃料及び冷却水の漏洩の状況	○					
(8)		計器類及びランプ類の指示及び点灯の状況	○					
(9)		自家用発電装置の取付けの状況	○					
(10)		自家用発電機室の給排気の状況（屋内に設置されている場合に限る）	○					
(11)		接地線の接続の状況	○					
(12)		絶縁抵抗	○					
(13)	自家用発電装置の性能	電源の切替えの状況	○	2	2			
(14)		始動の状況	○					
(15)		運転の状況	○					
(16)		排気の状況	○					
(17)		コンプレッサー、燃料ポンプ、冷却水ポンプ等の補機類の作動の状況	○					
(18) 直結エンジン	直結エンジンの外観	直結エンジンの設置の状況	—	直結エンジンの性能				
(19)		燃料油、潤滑油及び冷却水の状況	—					
(20)		セル始動用蓄電池及び電気ケーブルの接続の状況	—					
(21)		計器類及びランプ類の指示及び点灯の状況	—					
(22)		給気部及び排気管の取付けの状況	—					
(23)		Vベルト	—					
(24)		接地線の接続の状況	—					
(25)		絶縁抵抗	—					
(26)	直結エンジンの性能	始動及び停止並びに運転の状況	—					
5 上記以外の検査項目等								
	原則記入不要。（福島市で定める検査項目の追加なし）							
「要是正」の項目は全て記入（「既存不適格」含む）。その他特記すべき事項があれば記入。								
「番号」及び「検査項目」は上記表から転記し、「指摘の具体的な内容等」、「改善の具体的な内容等」、「改善（予定）年月」を記入。								
特記事項								
番号	検査項目等	指摘の具体的な内容等	改善策の具体的な内容等	改善（予定）年月				
1(18)	排煙口の排煙風量	排煙口ゴミ付着	清掃処理	RO.○				
1(18), 1(19)	機械排煙設備の排煙口の性能	次回検査：R11予定						

検査結果表  
(非常用の照明装置)

## 記入例

当該検査に関与した検査者	氏名		検査者番号	
	代表となる検査者	設備 太郎	調査者が複数の場合記入。 一人の場合は省略可。	1
	その他の検査者	設備 次郎		2
番号	検査項目等		検査結果	
		指摘なし	要是正	担当検査者番号
判定基準(H20国交省告示第285号別表)により判定。「指摘なし」または「要是正」欄に○を記入、「要是正」の項目が既存不適格である場合は併せて「既存不適格」欄にも○を記入。				
<b>1 照明器具</b>			2 (1) 平成12年の法改正以前の施設において、予備電源が自家用発電装置のみの場合は「既存不適格」とする。	
(1) 非常用の照 明器具	使用電球、ランプ等	○		
(2) 明器具	照 明器具の取付けの状況	○		
<b>2 電池内蔵形の蓄電池、電源別電形の蓄電池及び自家用発電装置</b>			2 (2) については、非常用の照明装置の照度測定表(別紙4)を添付すること。	
(1) 予備電源	予備電源への切替え及び器具の点灯の状況並びに予備電源の性能	○		
(2) 照度	照度の状況	—		
(3)	照明の妨げとなる物品の放置の状況	○		
(4) 分電盤	非常用電源分岐回路の表示の状況	○		
(5) 配線	配電管等の防火区画貫通措置の状況(隠蔽部分及び埋設部分を除く。)	○		
<b>3 電源別電形の蓄電池及び自家用発電装置</b>				
(1) 配線	照 明器具の取付け状況及び配線の接続の状況(隠蔽部分及び埋設部分を除く。)	—		
(2)	電気回路の接続の状況	—		
(3)	接続部(幹線分岐及びボックス内に限る。)の耐熱処理の状況	—		
(4)	予備電源から非常用の照明器具間の耐熱配線処理の状況(隠蔽部分及び埋設部分を除く。)	—		
(5) 切替回路	常用の電源から蓄電池設備への切替えの状況	—		
(6)	蓄電池設備と自家用発電装置併用の場合の切替えの状況	—		
<b>4 電池内蔵形の蓄電池</b>			1	
(1) 配線及び充電ランプ	充電ランプの点灯の状況	○		
(2)	誘導灯及び非常用照明兼用器具の専用回路の確保の状況	○	1	
<b>5 電源別電形の蓄電池</b>			該当しない項目は「-」または「/」を記入。	
(1) 蓄電池	蓄電池等の状況	—		
(2)	蓄電池室の換気の状況	—		
(3)	蓄電池の設置の状況	—		
(4) 蓄電池の性能	電圧	—		
(5)	電解液比重	—		
(6)	電解液の温度	—		
(7) 充電器	充電器室の防火区画等の貫通措置の状況	—		
(8)	キューピクルの取付けの状況	—		
<b>6 自家用発電装置</b>				
(1) 自家用発電装置	自家用発電機室の防火区画等の貫通措置の状況	—		
(2)	自家用発電機の発電容量	—		
(3)	自家用発電機及び原動機の状況	—		
(4)	燃料油、潤滑油及び冷却水の状況	—		
(5)	始動用の空気槽の圧力	—		
(6)	セル始動用蓄電池及び電気ケーブルの接続の状況	—		
(7)	燃料及び冷却水の漏洩の状況	—		
(8)	計器類及びランプ類の指示及び点灯の状況	—		
(9)	自家用発電装置の取付けの状況	—		
(10)	自家用発電機室の給排気の状況(屋内に設置されている場合に限る)	—		
(11)	接地線の接続の状況	—		
(12)	絶縁抵抗	—		
(13) 自家用発電装置の性能	電源の切替えの状況	—		
(14)	始動の状況	—		
(15)	運転の状況	—		
(16)	排気の状況	—		
(17)	コンプレッサー、燃料ポンプ、冷却水ポンプ等の補機類の作動の状況	—		
<b>7 上記以外の検査項目等</b>	原則記入不要。(福島市で定める検査項目の追加なし)			
「要是正」の項目は全て記入(「既存不適格」含む)。その他特記すべき事項があれば記入。 「番号」及び「検査項目」は上記表から転記し、「指摘の具体的な内容等」、「改善の具体的な内容等」、「改善(予定)年月」を記入。				
特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的な内容等	改善策の具体的な内容等	改善(予定)年月
2(2)	照度の状況	電球の球切れ	電球の交換	R○.○

## (注意)

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の6様式第二面12欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は記入不要です。
- ④ 検査対象建築物に非常用の照明装置がない場合は、記入不要です。
- ⑤ 該当しない検査項目等がある場合は、当該項目の「検査結果」欄及び「担当検査者番号」欄に「-」を記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄は、別表第三(3)欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表第三(3)欄に掲げる検査事項について同表(1)欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、(6)に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑨ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑩ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入不要です。
- ⑪ 2(2)「照度」については、非常用の照明装置の照度測定表(別表4)を添付してください。
- ⑫ 7「上記以外の検査項目等」欄は、第2第2項の規定により特定行政庁が検査項目等を付加している場合に、当該検査項目等を追加し、(6)から(10)までに準じて検査結果等を記入してください。また、第2第3項に規程する認定検査項目が定められている場合に、当該認定検査項目等を追加し、(6)から(10)までに準じて検査結果等を記入してください。
- ⑬ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的な内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的な内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的な内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を( )書きで記入してください。
- ⑭ 要是正された検査項目等(既存不適格の場合を除く。)については、要是正された部分を撮影した写真を別添の様式に従い添付してください。

別表1 法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室（換気設備を設けるべき調理室等を除く。）の換気状況評価表（A4） 記入例

測定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	測定機器 メーカー名	〇〇〇〇		型式番号等	△△△-△△
階	室名	必要換気量 (m <sup>3</sup> /h)	換 気 方 式	換気設備機種名*注1	換気状況の評価*注2	判 定
1	事務室	200	一種・二種・三種	全熱交換器	300m <sup>3</sup> /h	指摘なし・要是正
1	休憩室1	100	一種・二種・三種	全熱交換器	215m <sup>3</sup> /h	指摘なし・要是正
1	休憩室2	100	一種・二種・三種	全熱交換器	200m <sup>3</sup> /h	指摘なし・要是正
	建築確認図書の必要換気量を転記する。 改修等で状況が変化している場合は、建築基準法施行令第20条の2にしたがって算出する。	一種・二種・三種				指摘なし・要是正
		一種・二種・三種				指摘なし・要是正
		一種・二種・三種				指摘なし・要是正
		一種・二種・三種			2~3年に渡って検査した場合は、 1,2年目で測定した別表1のデータも添付すること。	指摘なし・要是正
		一種・二種・三種				指摘なし・要是正
		一種・二種・三種				指摘なし・要是正
		一種・二種・三種				指摘なし・要是正

注1) 室ごとに単独の換気扇がある場合など、換気設備が特定されている場合は、その名称を記入する。

注2) 「換気状況の評価」欄には、外気取り入れ口における風量測定を行うことが最も確実であり、換気量測定を行った場合は、その測定結果を記入する。これに代わる方法として、各室の二酸化炭素濃度の測定を行い、居住者数と測定値に矛盾がないか確認する等を行った場合には、その結果を記入する。

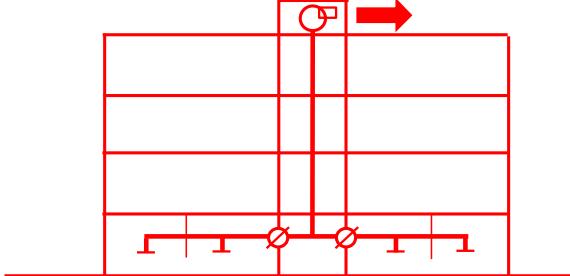
別表2 換気設備を設けるべき調理室等の換気風量測定表（A4）

測定年月日	令和〇年〇〇月〇〇日	測定機器 メーカー名	〇〇〇〇		型式番号等	△△△-△△		記入例
室番（場所）	使用器具	発熱量(kW)	換気型式(n)	必要換気量 (m <sup>3</sup> /h)	開口面積 (m <sup>2</sup> )	測定風速 <sup>*注</sup> (m/s)	測定風量 (m <sup>3</sup> /h)	判定
1階厨房	ガスレンジ	55.9	40・30・20・2	1040	0.25	1.4	1260	指摘なし・要是正
2階厨房	フライヤー	20.93	40・30・20・2	390	0.09	1.1	356	指摘なし・要是正
			40・30・20・2	建築確認図書の必要換気量を転記する。改修等で状況が変化している場合は、建築基準法施行令第20条の3にしたがって算出する。				指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2				毎年全数検査が必要。	指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正

注) 「測定風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。

別表3 排煙風量測定記録表 (A4) \*注1)

記入例

測定年月日	令和〇年〇〇月〇〇日	測定機器 メーカー名	〇〇〇〇	型式番号等	△△-△△		
1	排煙機系統(機器番号等) □□□-□□-□□	排煙機銘板表示 一般系統 (〇〇-〇)	排煙機の規定風量 最大防煙区画面積 300 m <sup>2</sup> × 1 6r = 600 m <sup>3</sup> /min				
排煙機ごとに作成する。							
2	階	室名	排煙口面積 (m <sup>2</sup> )	測定風速 (m/s)*注2)	測定風量 (m <sup>3</sup> /min)	規定風量 (m <sup>3</sup> /min)	判定
	1	ホールA	0.5	10.4	310	300	指摘なし・要是正
	1	ホールB	0.25	10.2	150	100	指摘なし・要是正
	1	廊下A	0.2	8.5	100	100	指摘なし・要是正
	1	廊下B	0.2	9.2	100	100	指摘なし・要是正
排 煙 機						判定	
3	排煙機 (番号等)	煙排出口面積 (m <sup>2</sup> )	測定風速 (m/s)*注2)	測定風量 (m <sup>3</sup> /min)	規定風量 (m <sup>3</sup> /min)		
	〇〇〇〇	1	10.52	610	600	指摘なし・要是正	
4	直結エンジン (内燃エンジン) の有無	予備電源又は直結エンジン 切り替え	3、4: 毎年全数検査				
	有	無	指摘なし・要是正				
5	排煙系統図 (排煙機と排煙口の対応関係がわかる図を記入すること)						
							

注1) 本記録表は、排煙機系統ごとに記入する。

注2) 「測定風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。

注3) 自主点検等による排煙風量測定記録がある場合は、実施時期、測定方法、測定値等が適正であるか否かを判定すること。

別表3-2 排煙風量測定記録表 (A4) 給気式 (特殊な構造の排煙設備)

測定年月日		令和〇〇年〇〇月〇〇日	測定機器 メーカー名	〇〇〇〇	型式番号等	△△-△△	記入例
1	給気送風機系統(機器番号等) □□□-□□-□□		給気送風機銘板表示 〇〇×〇〇×〇〇	給気送風機の性能(風量) 250 $\text{m}^3/\text{min}$			
排 煙 口							
2	階	室 名	排煙口面積 ( $\text{m}^2$ )	測定風速 ( $\text{m}/\text{s}$ )*注1)	測定風量 ( $\text{m}^3/\text{min}$ )	規定風量 ( $\text{m}^3/\text{min}$ )	判定
	2	乗降口ビー	0.25	1.3	19.5	10~137	指摘なし・要是正
	3	乗降口ビー	0.25	1.0	15.0	10~137	指摘なし・要是正
	4	乗降口ビー	0.25	0.9	13.5	10~137	指摘なし・要是正
3	給 気 送 風 機						判定
	吸込口面積 ( $\text{m}^2$ )	測定風速 ( $\text{m}/\text{s}$ )*注1)	測定風量 ( $\text{m}^3/\text{min}$ )	規定風量 ( $\text{m}^3/\text{min}$ )			
1	1.3	78	10~150	指摘なし・要是正			
4	直結エンジン(内燃エンジン)の有無	予備電源又は直結エンジン切り替え					
	有・無	指摘なし・要是正					
3、4: 毎年全数検査							
5	排煙系統図 (給気送風機と排煙口の対応関係がわかる図を記入すること)						

- 注1) 「測定風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。  
 注2) 自主点検等による排煙風量測定記録がある場合は、実施時期、測定方法、測定値等が適正であるか否かを判定すること。

別表3-3 排煙風量測定記録表 (A4) 加圧式(加圧防排煙設備)

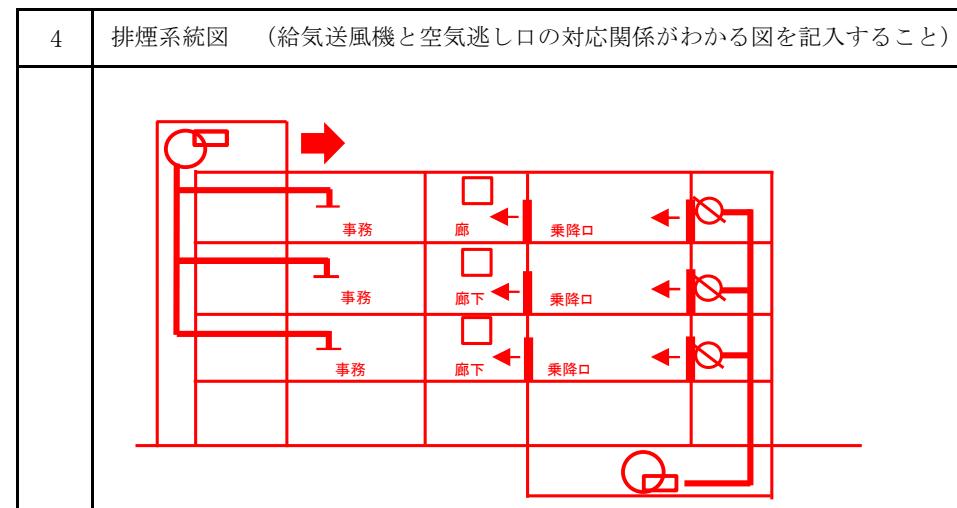
記入例

測定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	測定機器 メーカー名	〇〇〇〇	型式番号等	△△-△△
1	給気送風機系統(機器番号等) □□□-□□-□□	給気送風機銘板表示 〇〇×〇〇×〇〇		給気送風機の性能(風量) 360	m <sup>3</sup> /min

階	室名	遮煙開口部・空気逃し口					判定
		空気逃し口の方式*注1)	測定排煙風速*注2 (m/s)	規定排出風速*注3 (m/s)	算定式*注3)	遮煙開口部の高さ(m)	
2	2 乗降ロビー	1. 自然方式 <input type="checkbox"/> 2. 機械方式 <input type="checkbox"/> 3. 併用方式 <input checked="" type="checkbox"/>	5.8	4.67	②	2	指摘なし 要是正
	3 乗降ロビー	1. 自然方式 <input type="checkbox"/> 2. 機械方式 <input type="checkbox"/> 3. 併用方式 <input checked="" type="checkbox"/>	5.5	4.67	②	2	指摘なし 要是正
	4 乗降ロビー	1. 自然方式 <input type="checkbox"/> 2. 機械方式 <input type="checkbox"/> 3. 併用方式 <input checked="" type="checkbox"/>	5.6	4.67	②	2	指摘なし 要是正
		1. 自然方式 <input type="checkbox"/> 2. 機械方式 <input type="checkbox"/> 3. 併用方式 <input type="checkbox"/>					指摘なし・要是正

3	直結エンジン (内燃エンジン) の有無	予備電源又は直結エンジン 切り替え	指摘なし 要是正
	有	無	

- 注1) 「空気逃し口の方式」欄には、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れる。
- 注2) 「測定排出風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。
- 注3) 隣接室を区画する当該区画の仕様及び隣接室の仕様に応じて、規定排出風速Vの算定式を以下の①から③のいずれかを選択し、「算定式」欄に記入する。また、当該算定式により排出風速を算出し、「規定排出風速」欄に記入する。この場合において、Vは排出風速、Hは遮煙開口部の高さを表す。  
①V=2.7√H ②V=3.3√H ③V=3.8√H
- 注4) 自主点検等による風速測定記録がある場合は、実施時期、測定方法、測定値等が適正であるか否かを判定すること。



別表4 非常用の照明装置の照度測定表（A4）

測定年月日	令和〇年〇〇月〇〇日	測定機器 メーカー名	〇〇〇〇	型式番号等	記入例
光源の種類		最低照度の測定場所	最低照度 (lx)	判定	
階	部屋・廊下等				
白熱灯	2	客室201、客室302	0	指摘なし・要是正	
蛍光灯	1	階段	3	指摘なし・要是正	
LEDランプ（自動検査機能なし）	2	エレベーターホール	3	指摘なし・要是正	
LEDランプ（自動検査機能あり）				指摘なし・要是正	
その他（）		最低照度の測定場所及び最低照度は、建物全体で判定。		指摘なし・要是正	

(別紙)

階別	測定場所	測定位置*注1	光源の種類*注2	照度 (lx)*注3	判定	
1 常用エレベーターのロビー 及び居室の出入口等、主として避難行動上重要な場所 とする。	ロビー	北東	白熱灯（内）	6	指摘なし・要是正	
1	廊下	東端	白熱灯（内）	3	指摘なし・要是正	
1	廊下	踊り場	白熱灯（内）	4	指摘なし・要是正	
1	階段	東端	蛍光灯（内）	3	指摘なし・要是正	
2	エレベーターホール 避難経路を全数検査の 後、最も暗い箇所を室 ごとに記入する。	乗場前	LED	3	指摘なし・要是正	
2		廊下	西端	白熱灯（内）	4	指摘なし・要是正
2		客室201	出入口付近	白熱灯（内）	0	指摘なし・要是正
2		客室202	出入口付近	白熱灯（内）	8	指摘なし・要是正
2		客室203	出入口付近	白熱灯（内）	4	指摘なし・要是正
2		客室204	出入口付近	白熱灯（内）	5	指摘なし・要是正
2		客室205	出入口付近	白熱灯（内）	6	指摘なし・要是正
2		階段	踊り場	蛍光灯（内）	7	指摘なし・要是正
3		エレベーターホール	乗場前	LED	7	指摘なし・要是正
3		廊下	西端	白熱灯（内）	4	指摘なし・要是正
3	客室301	出入口付近	白熱灯（内）	3	指摘なし・要是正	
3	客室302	出入口付近	白熱灯（内）	0	指摘なし・要是正	
3	客室303	出入口付近	白熱灯（内）	7	指摘なし・要是正	
3	客室304	出入口付近	白熱灯（内）	5	指摘なし・要是正	
3	客室305	出入口付近	白熱灯（内）	5	指摘なし・要是正	

注1) 「測定位置」欄には、「出入口付近」、「右壁中央付近」のように明記する。

注2) 「光源の種類」欄には、白熱灯、蛍光灯、LEDランプ（自動検査機能あり）、その他の別及び電池内蔵のものにあっては、（内）と付す。

注3) 「照度」欄には、自動検査機能を有していない場合は、照度の値（lx）を記入し、自動検査機能を有するものにあっては、「-」を記入する。

## 関係写真

要是正等がない場合は省略可

部位	番号	調査項目	調査結果
			<input type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> その他
調査結果表の番号、調査項目転記		特記事項	既存不適格、特記すべき事項 はその他にチェック
写真添付		指摘内容を記入	

(注意)

- ① この書類は、調査の結果「要是正」かつ「既存不適格」ではない項目について作成してください。また、「既存不適格」及び「指摘なし」の項目についても、特記すべき事項があれば、必要に応じて作成してください。「要是正」の項目がない場合は、この書類は省略しても構いません。
  - ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
  - ③ 「部位」欄の「番号」、「調査項目」は、それぞれ別記様式の番号、調査項目に対応したものを記入してください。
  - ④ 「調査結果」欄は、調査の結果、要是正の指摘があった場合は「要是正」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、それ以外の場合で特記すべき事項がある場合は「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
  - ⑤ 写真は、当該部位の外観の状況が確認できるように撮影したものを添付してください。